



エコアクション21 環境活動レポート

＜対象期間 2019年4月1日 ～ 2020年3月31日＞



株式会社マルダイ

＜Join hands with recycling for the environment of the future.＞

発行日:2020年 6月22日

改訂日:2020年 7月28日

適用:エコアクション 21 産業廃棄物処理業者向けガイドライン 2009年版(環境省)



<目次>

1.	環境方針		1
2.	組織の概要		2
3.	実施体制		3
4.	許可情報		3
5.	環境目標		4
6.	2019 年度環境目標と環境活動計画の実績・評価		7
7.	次年度の取組(2020 年度)		10
8.	関連法規への違反、訴訟の有無		11
9.	代表者による全体評価と見直し		12

1. 環境方針

環境方針

□ 環 境 理 念

株式会社マルダイは、産業廃棄物処理業及び収集運搬業の事業活動をととして、地球と地域の環境の保全に貢献します。

□ 行 動 指 針

環境経営に積極的に取組むために、環境経営システムを構築し、継続的な環境負荷の低減に取り組めます。

1) 環境への取組みとして、特に次の事項に取り組めます。

- ・二酸化炭素排出量の削減
- ・水使用量の削減
- ・グリーン購入の推進
- ・リサイクル活動における品質管理の徹底
- ・リサイクル活動に使用する作業機械のメンテナンス強化
- ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の管理の徹底
- ・地域環境保全活動への積極的貢献

2) 環境に関する法規制及び当社が同意した各種協定を遵守し、環境汚染の防止に努めます。

3) 環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

4) 環境方針は、社外からの要求、その他、必要に応じて公表します。

制定日 2006年4月1日

改訂日 2016年4月1日

株式会社 マルダイ

代表取締役 草野 哲郎

2. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者

事業所名 株式会社 マルダイ
代表者名 代表取締役 草野 哲郎

2) 所在地

岐阜県揖斐郡大野町大字五之里 148 番地 1

3) 環境管理責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者 取締役 草野 由果 (破碎・リサイクル施設技術管理士)
連絡先 TEL 0585-36-0320 FAX 0585-36-0318
Mail info@marudai-recycle.com

4) 事業の内容

産業廃棄物処分業(中間処理・破碎)、産業廃棄物収集運搬業(積替え保管を含む)、一般廃棄物処分業

5) 法人設立年月日

1990 年 5 月 11 日

6) 資本金

2,000 万円

7) 売上高

37,288 万円(2019 年度)

8) 事業の規模

従業員数	25 人
積替保管	保管面積 135 m ² 、保管上限 324 m ³
事業所の延べ床面積	32.4 m ²

9) 環境省 優良産廃処理業者認定制度

平成 28 年 12 月 13 日 環境省 優良産廃処理業者認定制度に認定

10) 施設等の状況

運搬車両種類と台数	4tダンプ 1 台、2tダンプ1台、軽トラック1台
作業機械の種類と台数	ミニホイールローダ 5 台、バックホウ 6 台
処理施設の種類	破碎施設
処理する産業廃棄物の種類	木くず
処理能力	4.8t/日(0.6t/時間)
処理施設の面積	3,862.61 m ²

11) 2019 年度処理実績

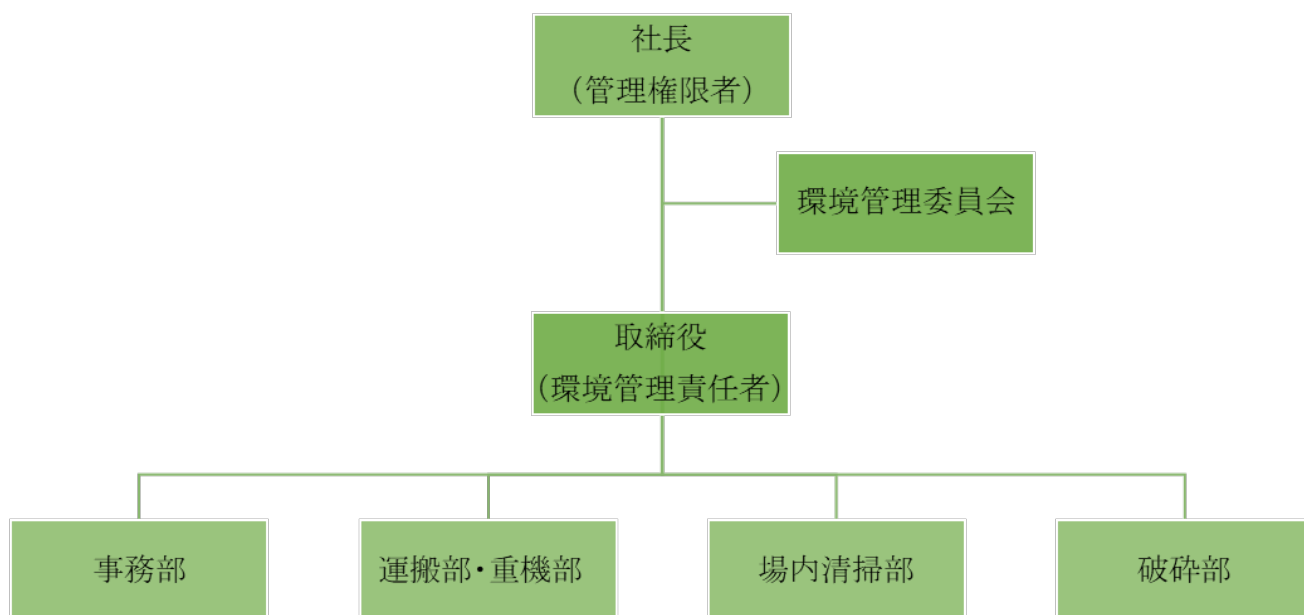
- ・産業廃棄物収集運搬量 10,159.10t(積替保管)
 - ・産業廃棄物処分量 1,272.00t
 - ・一般廃棄物処分量 8.53t
- ※受託した廃棄物は 100%再資源化しています。

12) 認証登録範囲

- ・当社の全組織・全活動を対象とします。

3. 実施体制

1) 組織図



2) 部門職務内容

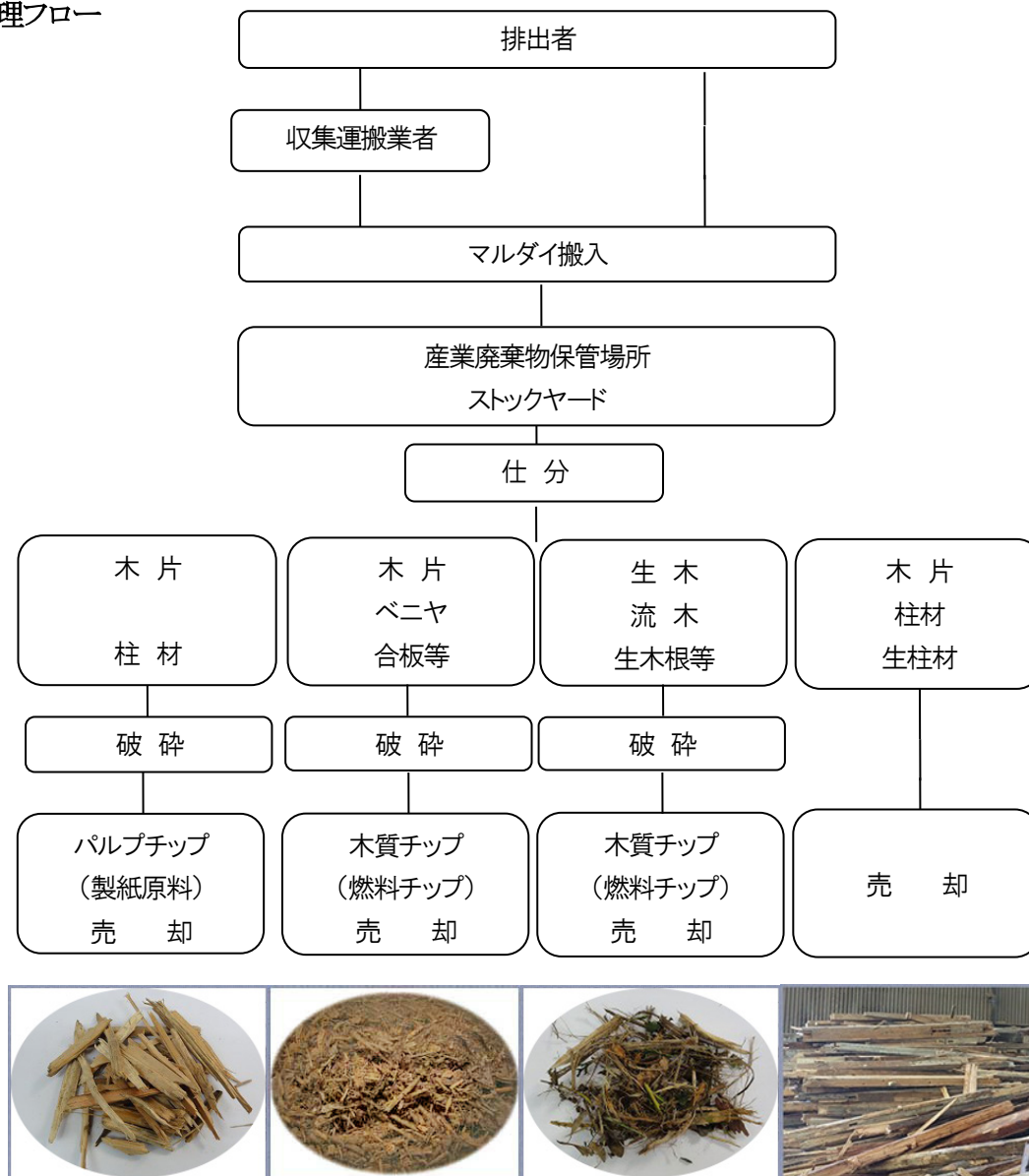
部 門	職務内容
管理権限者	最高責任者
環境管理委員会	運用上の進捗管理及び審議
環境管理責任者	環境経営システムの統括及び責任者
事務部	産業廃棄物管理票(マニフェスト)、入出、その他業務
運搬施設・重機部	ミニホイールローダ、バックホウの管理
場内清掃部	入荷後の木くずの仕分け、清掃
破砕部	破砕機・木材選別機の管理及び破砕作業

4. 許可情報

1) 取得許可

区分	種別	許可番号	許可年月日	有効年月日	備考
岐阜県	産業廃棄物 処分業	02121063195	平成 28 年 12 月 13 日	平成 35 年 12 月 12 日	中間処理(破砕)木くず 4.8t/日 優良産業処理業者認定制度に適合
	産業廃棄物 収集運搬業	02111063195	令和元年 7 月 26 日	令和 6 年 7 月 25 日	木くず・がれき類、積替え保管有り 保管面積 135 m ² 、保管上限 324 m ³
愛知県	産業廃棄物 収集運搬業	02300063195	平成 27 年 8 月 18 日	平成 32 年 8 月 9 日	木くず、積替え保管無し ※更新手続き中
三重県	産業廃棄物 収集運搬業	02400063195	平成 28 年 5 月 2 日	平成 33 年 5 月 1 日	木くず、積替え保管無し
滋賀県	産業廃棄物 収集運搬業	02501063195	令和元年 9 月 26 日	令和 6 年 9 月 7 日	木くず、積替え保管無し
揖斐郡 大野町	一般廃棄物 処分業	大環衛処分 許可第1号	平成 31 年 4 月 1 日	平成 33 年 3 月 31 日	木くず、4.8t/日

2) 処理フロー



5. 環境目標

1) 環境負荷の年間実績推移

区分	単位	2017 年度	2018 年度	2019 年度
売上高	万円	36,187	35,613	37,288
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	367,973.9	344,644	338,470
電気使用量	kWh	229,207	217,162	223,826
重機軽油使用量	ℓ	94,449	88,464	88,252
収集運搬軽油使用量	ℓ		3,458	3,276
LPG 使用量	kg	13.7	13.5	13.0
灯油使用量	ℓ	3,480	0	0
水使用量	m ³	6,334	6,268	6,142

2) 環境目標

項目		基準値	2018 年度 (2018 年 4 月～2019 年 3 月) (1%削減)	2019 年度 (2019 年 4 月～2020 年 3 月) (2%削減)	2020 年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月) (3%削減)
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	367,974	364,294	360,615	356,935
	電気使用量の削減 (kWh)	229,207	226,915	224,623	222,331
	化石燃料使用量の削減				
	軽油 重機用軽油 (ℓ)	94,449	93,505	92,560	91,616
	油 収集運搬車用軽油 (ℓ)	3,566	3,520	3,485	3,449
	LP ガス使用量の削減 (kg)	13.7	13.6	13.4	13.3
2	水使用量の削減 (m ³)	6,334	6,271	6,207	6,144
3	グリーン購入の推進	7 件	8 件	9 件	10 件
4	リサイクル活動における品質管理の徹底	－	実施	実施	実施
5	リサイクル活動に使用する作業機械のメンテナンス強化	－	実施	実施	実施
6	産業廃棄物管理表の管理の徹底	－	実施	実施	実施
7	地域環境保全活動への積極的貢献	－	実施	実施	実施
8	環境に関する法規及び各種協定の遵守	－	実施	実施	実施
9	環境経営システムの内容を全社員に周知徹底	－	実施	実施	実施
10	情報開示等	－	産廃ネット等	産廃ネット等	産廃ネット等

- ・行政への提出資料とあわせて、4 月から 3 月の集計値を用いる。
- ・2017 年度の実績を基準値とする。
- ・灯油使用の重機は 2017 年 11 月で使用を終了し、全て軽油使用のものに切り替えた。
- ・産業廃棄物は、受託した物を全てリサイクルする。
- ・化学物質は使用していない。

3) 環境活動計画

① 二酸化炭素排出量の削減
○電気使用量の削減 中部保安協会と契約を締結し、デマンド管理を実施。 ・消費電力の削減、監視の徹底 ・コンプレッサーの休憩時間 OFF ・昼休み・時間外の消灯 ・不要照明・機器等の電源を切る ・冷暖房の室温管理や運転管理をする（ブラインドなどを活用）
○化石燃料使用量の削減
◎重機 ・アイドリングストップの徹底 ・運転記録の作成、確認 ・重機の適正なエンジン回転数の徹底 ・法律で定められた特定自主検査を行う
◎収集運搬車 ・適切な積替え保管の実施 ・収集ルートを選定により、効率化を図る ・不用品の積載をしない ・エコドライブの推進 ・日常点検を行う
○LP ガス使用量の削減 ・主に、給湯用を使用し、ムダな使用を禁止（LP ガスの適正な使用） ・漏水、漏ガスのチェック

② 水使用量の削減
工場にテント屋根をつけ、粉塵対策を行う。 ・工場内の床の清掃や重機の清掃などに使用する際には、使用時間を決め、効率的に散水し、節水に取り組む。 ・水漏点検の推進
③ グリーン購入の推進
(公財)日本環境協会から発行されている「Green Station」を取り寄せ、積極的にグリーン購入を推進する。 また、高額な物品購入については、社長決済とする。
④ リサイクル活動における品質管理の徹底
・破砕機、重機の始業前点検、就業後点検を行い、故障を未然に防ぎ作業効率を向上する。 ・製品に不純物が混入することを防ぐため、破砕機に投入する前に、人力による手選別を行い製品の品質向上を図り、工程管理を徹底する。 ・製品にオーバーサイズ(規格外)のチップが混入することを防ぎ、定期的に製品品質を確認する。 ・クレームゼロを目指す
⑤ リサイクル活動に使用する作業機械のメンテナンス強化
・作業機械の定期的なメンテナンスの実施(作業機械の保守点検・整備の徹底) ・破砕機、ふるい機の使用毎の清掃点検 ・法律で定められた特定自主検査を行う。
⑥ 産業廃棄物管理表の管理の徹底
・排出事業者(持ち込み業者)へマニフェストの提示を呼びかけ、不携帯の場合は岐阜県産業環境保全協会での購入を推進し、購入後、荷物を持ち込むよう指導する。 ・電子マニフェスト(イーリバース・JWNET)を行っている会社に登録加入し、電子マニフェストの対応を積極的に取り組む。
⑦ 地域環境保全活動への積極的貢献
・事務所周辺の清掃・美化に取り組む。 ・ゴミは各自で持ち帰り、必要に応じて再利用を行う。 ・地域の活動には積極的に参加し、地域の環境保全の向上に努める。
⑧ 環境に関する法規及び各種協定の遵守
・法規制等の順守状況・法改正のチェック ・環境に関する法規制及び当社が同意した各種協定の遵守
⑨ 環境経営システムの内容を全社員に周知徹底
・幹部会議、朝礼・ミーティング等により、会社の方針、業績を伝達・周知する。 ・書類回覧、掲示等の活用 ・研修会や講習会への参加
⑩ 情報開示等
・ホームページにて自社の情報公開を行う。 https://www.marudai-recycle.com ・許可の情報については産廃ネットにて情報公開を行う。 http://www.sanpainet.or.jp/

使用量の記録等:「総トータル集計表」、「環境目標、環境活動計画の実施及び評価結果」、「品質管理クレーム対応書」
「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」、「産業廃棄物の処分実績報告書」、「環境関連法規等リスト及び遵守評価」、「騒音・振動 測定報告書」、「計量証明書」、「環境管理委員会議事録」、「教育・訓練記録表」

6. 2018 年度環境目標と環境活動計画の実績・評価

1) 環境目標の実績

年度		2019 年(2019 年 4 月～2020 年 3 月)			
項目		基準値	目標値 (2%削減)	実績値	評価
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	367,974	360,615	338,470	○
	電気使用量の削減 (kWh)	229,207	224,623	223,826	○
	化石燃料使用量の削減				
	軽油 重機用軽油 (ℓ)	94,449	92,560	88,252	○
	収集運搬車用軽油 (ℓ)	3,556	3,485	3,276	○
	LP ガス使用量の削減 (kg)	13.7	13.4	13.0	○
2	水使用量の削減 (m ³)	6,334	6,207	6,142	○
3	グリーン購入の推進	7 件	9 件	10 件	○
4	リサイクル活動における品質管理の徹底	-	実施	実施	○
5	リサイクル活動に使用する作業機械のメンテナンス強化	-	実施	実施	○
6	産業廃棄物管理表の管理の徹底	-	実施	実施	○
7	地域環境保全活動への積極的貢献	-	実施	実施	○
8	環境に関する法規及び各種協定の遵守	-	実施	実施	○
9	環境経営システムの内容を全社員に周知徹底	-	実施	実施	○
10	情報開示等	-	産廃ネット等	産廃ネット等	○

・基準値は、2017 年度の実績値を設定した。

・電力の排出係数は、2017 年度中部電力(株)の実排出係数 0.476kg-CO₂/kWhを用いた。

・評価: ○ 削減・実施できた × 削減・実施できなかった

2) 環境目標の評価

項 目		評価	コメント
1	二酸化炭素排出量の削減	○	電気使用量を削減することを重点的に行った結果、目標を達成することができた。
	電気使用量の削減	○	年間の目標値は達成できたが、月別では達成できていないこともあるため、すべての月で目標が達成できるよう努力したい。
	化石燃料使用量の削減		
	軽油		
	重機用軽油	○	電気使用量と同じで目標が達成できていない月もあるため、すべての月で目標が達成できるよう継続した取り組みを行っていききたい。
	収集運搬車用軽油	○	適切に積替保管を行い、目標を達成することができた。
	LP ガス使用量の削減	○	必要な場合を除き、給湯器を使用しないようにしたため目標が達成できた。
2	水使用量の削減	○	入り口にはミストなどを噴霧し、粉塵対策を行っているため目標を達成できた。

3) 環境活動計画の評価

	活動項目	評価	評価(コメント)
3	グリーン購入の推進	○	・年 8 件を目標に取り組み、本年度は目標を上回る 10 件購入できた。
4	リサイクル活動における品質管理の徹底	○	・今年も年間を通してノークレームで商品を出荷できた。今後も製品の品質管理を徹底し努力したい。
5	リサイクル活動に使用する作業機械のメンテナンスの強化	○	・作業機械を日常点検することで、小さな異常にも気付くことができ大きな故障を未然に防ぐことができ、コスト削減につなげることも可能となった。
6	産業廃棄物管理表の管理の徹底	○	・産業廃棄物管理票の管理を法令に基づき順守を徹底した。また、昨年度に続き不携帯者や記入漏れのある方への指導も行った。
7	地域環境保全活動への積極的貢献	○	・本年度も継続して、大野町主催のイベントには積極的に参加し、地域環境保全に努めた。 ・2019 年 6 月、岐阜県産業環境保全協会より表彰を頂きました。 ・2019 年 3 月に大野町に軽乗用車を 1 台寄贈したことに対し、大野町長より表彰をいただきました。 ・2019 年 11 月 3 日大野町主催の木育フェアで苗木プレゼントを行いました。
8	環境に関する法規及び各種協定の遵守	○	・環境に関する法規の改正の情報に漏れないよう、積極的に勉強会等に参加すると共に有識者の方にも確認を行い法令遵守に努めた。
9	環境経営システムの内容を全社員に周知徹底	○	・エコアクション 21 の取組に対し 13 年目を迎え、従業員が一丸となり積極的な環境活動に取り組むことができた。
10	情報開示等	○	・産廃ネット及び、自社ホームページによる企業情報の提供などの更新を継続して取り組んでいる。今後も信用に向けた取組を行っていききたい。

<2019 年度(株)マルダイ地域環境保全活動への積極的貢献>

- ・2019 年 6 月 5 日 十年以上にわたり会員として事業活動の尽力や協会発展への貢献に対して、一般社団法人岐阜県産業環境保全協会より表彰を頂きました。



- ・2019 年 10 月 5 日 大野町地域活動の貢献のため、軽乗用車を1台寄贈したことに對して、岐阜県大野町長より表彰を頂きました。



- ・2018 年 11 月 3 日 大野町運動公園にて行われたおおの木育フェアで柑橘系の苗木プレゼントを行いました。



産業廃棄物処理の状況



良産廃処理業者認定基準適合業者の看板



処理施設の全体写真



廃棄物を選別する様子

優



廃棄物を製品にする様子



ストックヤードの様子



木質チップの製造の様子

7. 次年度の取組(2019 年度)

1) 環境目標

年度		2020 年(2020 年 4 月～2019 年 3 月)	
項目		基準値	目標値 (基準値より 3%削減)
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	367,974	356,936
	電気使用量の削減 (kWh)	229,207	222,331
	化石燃料使用量の削減		
	軽油 重機用軽油 (ℓ)	94,449	91,616
	油 収集運搬車用軽油 (ℓ)	3,556	3,449
	LP ガス使用量の削減 (kg)	13.7	13.3
2	水使用量の削減 (m ³)	6,334	6,144
3	グリーン購入の推進	7 件	10 件
4	リサイクル活動における品質管理の徹底	－	実施
5	リサイクル活動に使用する作業機械のメンテナンス強化	－	実施
6	産業廃棄物管理表の管理の徹底	－	実施
7	地域環境保全活動への積極的貢献	－	実施
8	環境に関する法規及び各種協定の遵守	－	実施
9	環境経営システムの内容を全社員に周知徹底	－	実施
10	情報開示等	－	産廃ネット等

2) 環境活動計画

①二酸化炭素排出量の削減

・電気使用量の削減、化石燃料使用量(軽油)の削減、LPガス使用量の削減について取組み、目標値の達成に努めます。

②水使用量の削減

・テント屋根で覆うことにより粉塵の発生量が軽減されているため、水使用量の削減効果が得られているので引き続き継続して取り組みます。

③グリーン購入の推進

・主に事務用品を対象として取り組んでいるが、事務用品以外についても拡大していくことを目標に取り組んでいきます。

④リサイクル活動における品質管理の徹底

・より良い品質作りを目指し、全ての商品がノークレームで納品できるよう全工程で最新の注意を払い品質管理を徹底します。

⑤リサイクル活動に使用する作業機械のメンテナンス強化

・工場内で使用する作業機器の点検整備を毎日行い、作業効率の向上、及び出荷商品の品質管理の向上に努めます。

⑥産業廃棄物管理票(マニフェスト)の管理の徹底

・産業廃棄物管理表(マニフェスト)の提出を呼びかけ、管理を徹底します。

⑦地域保全活動への積極的貢献

・環境保全を行うことで地域社会から必要とされる会社作りを目指し、地域の取組に積極的に参加し全面的な協力を約束します。

⑧環境に関する法規および各種協定の遵守

・講習会等へ積極的に参加することで法規の理解を徹底し、関係法令を遵守します。

⑨環境経営システムの内容を全員に周知徹底

・社内教育を徹底し、環境経営システムの継続的な運営を行います。

⑩情報開示等

・外部からの情報請求に対応するだけでなく、自社のホームページや産廃ネット等のインターネット媒体を活用しオープンな会社作りを目指します。

8. 関連法規への違反、訴訟の有無

1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規等と該当する活動は、下記の通りです。なお、順守状況は、定期的な評価を実施し、良好な結果でした。

順守評価日:2020年4月3日

関 連 法 規	順 守 状 況	順守 評価
環境基本法	事業活動全般	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理	○
岐阜県廃棄物の適正処理等に関する条例	廃棄物の適正処理	○
騒音規制法	規制基準値の順守	○
振動規制法	規制基準値の順守	○
浄化槽法	点検等の順守	○
消防法	消火設備の設置、維持管理	○
オフロード法	重機の管理徹底	○
グリーン購入法	環境物品の購入	○
岐阜県公害防止条例	粉じん、騒音、振動等に関する事項の順守	○
大野町との公害防止協定	協定内容の順守	○

2) 違反、訴訟の有無

自社の事業活動に関する法令違反はありません。関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間なく、苦情及び訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直し

1) 実施日

2020年5月26日

2) 検討事項

- ①環境目標の達成状況
- ②法令等の順守状況
- ③外部からの苦情要望
- ④環境関連法規の改正の有無
- ⑤環境に関する新しい技術などの情報
- ⑥前回までの代表者による全体評価と見直しの結果に対するフォローアップ
- ⑦改善のための提案

3) 社長の主な評価・指示事項

- ・ 2018年度に設定した目標値に向かって取組を行った結果、全ての項目で目標を達成することができ品質に関するクレームも全くなかったことは従業員の努力のおかげだと思う。個別(月別)にみると、二酸化炭素排出量の削減、電気使用量の削減、化石燃料使用量の削減(軽油・重機)において達成することができなかった月もあるため、来年度はこの3項目を重点的に達成できるよう活動を行っていききたい。2020年も目標が達成できるよう、引き続き継続して努力をしていきたい。
- ・ 「大野町公害防止協定」、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」、「岐阜県条例(産業廃棄物関係規定)」等当該施設に係る法規制は全て遵守できた。
- ・ 新しいガイドラインについては担当者が講習会に参加し一部資料について適用を開始したが、まだ不明瞭な点もあるため、来年度から開始できるようにする。

見直しの 必要性	環境方針	環境目標	環境活動計画	環境経営システム
	☐ 要 ☒ 否	☐ 要 ☒ 否	☐ 要 ☒ 否	☐ 要 ☒ 否

